

平成25年度 第11回総会報告

S.P.V3グループ体制に移行!

10周年祝賀イベントが開催された2月16日、それに先立ち、館多目的研修室にてスペースパークボランティアの会(以下S.P.V)第11回総会が開かれました。

普段は4グループ各々で活動しているため、なかなか一堂に会することのないS.P.Vメンバーですが、この時期恒例の総会に至っては多彩な顔ぶれが並びます。

今回は、歴史的大雪で交通が麻痺し、やむなく遅刻・欠席する会員も多かったものの、採決等運営上は支障なく、積極的に活動に参加しているボランティアメンバーへの感謝状贈呈式、各活動グループや部会からの今年度の活動報告並びに来年度の目標などが発表され、滞り無く進行しました。

10周年の節目を迎えた今回は、久野会長から会体制変更に関する動議が出され、その場で可決されました。これを以て、今年度まで『案内サービス』『鉄道ジオラマ』『天文』『科学』の4グループ体制で活動してきたS.P.Vは、前者2グループを合併・名称変更する形で『案内』『天文』『科学』という3グループ体制に移行します。国内最大級のNゲージジオラマを誇る当館のボランティアから



“鉄道ジオラマ”の名が消えるのは寂しくもありますが、ボランティアの減少や高齢化などもあり、今後の活動の維持・発展のため必要な改革となります。

加えて、役員人数規定に若干の改定を加えるなどして、今後的情勢変化により柔軟に対応できる体制となりました。今回の総会は、本年度の活動の締め括りであると同時に、今後10年間を見据えた大きな意義を持つ会であったかと思います。

装いも新たに、4月から動き始める新生S.P.V☆今後も随時ボランティアを募集しておりますので、少しでも興味を惹かれましたら気軽にお問合せ下さい。

スペースパークボランティア大募集!

■活動時間

(午前の部) 9:30~13:00

(午後の部) 12:30~16:00

※館外での出張活動・イベント開催時・天文ボランティアの活動については、この限りではありません。
※毎月2回以上の活動を予定しております。

■応募条件

- 科学館の活動に興味があり、ボランティア活動への熱意がある方
- 15歳以上(中学生は除く)で健常な方
※未成年者は保護者の承諾書が必要となります。
- 無償で参加可能な方
※昼食代、交通費等の支給はありません。



■応募後のスケジュール

①登録前オリエンテーション

【日程】平成26年5月25日(日)
※都合が悪い方はご相談ください。
【場所】郡山市ふれあい科学館20階
多目的研修室
【時間】午後2時~(2時間程度)

②ボランティア会員登録

登録された方は、活動保険に加入します。
※実費負担はありません。

③ボランティア研修

【日程】平成26年6月8日(日)
※都合が悪い方はご相談ください。
【場所】郡山市ふれあい科学館20階
多目的研修室
【時間】午後2時~(2時間半程度)
※全体での研修が終り次第、各グループで集まる場合があります。

④ボランティア活動 7月スタート!

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第41号 6月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL.024(936)0201まで

(山)昨日の夢は今日の希望であり明日の現実である…!抱いた夢、現実にしたいですね!
(古)20年生きて、記録的な大雪に驚きました。
(星)この春は2年2ヶ月毎に接近する赤い星・火星に注目です~!
(原)大雪の中、迎えた10周年!記憶に残るひと時でした。また、新たな時を刻み楽しみたいです~!

●スペースパークボランティアの会●

S.P.Vつうしん

第40号 2014/mar.

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL.024(936)0201



大雪に見舞われた2月16日、昼過ぎから行われた年次総会に続き、スペースパークボランティアの会(以下S.P.V)設立10周年の記念式典が開催されました。

会長や歴代の科学館館長から挨拶があり、この10年間の功労者17名に科学館より感謝状が贈呈されました。受賞者を代表し、科学グループの関根利栄さんから活動に掛ける想いが述べられ、式典の締め括りに記念講演会が行われました。

設立10周年記念講演会

大雪で開催も危ぶまれたものの、予定通りご来館ください、アクアマリン

ふくしまボランティアの会 会長 杉山めぐみさんの講演を聞くことができました。

活動歴15年の杉山会長とは11月の研修旅行でアクアマリンに行った際にもお会いしており、お話を伺うのも2度目となります。久野S.P.V会長の話で、私たちの活動は、アクアマリンふくしまボランティアの会を参考にして始まったという事を初めて知りました。

ボランティアの捉え方・ボランティア活動の留意点・活動内容についての講演内容でした。一番記憶に残ったのが、お客様に間違った事を伝えないようにするということ。そのために研修は活動終了後に行い、自分で調べたことを館の方に見てもらいお客様の質問に回答できるようにしているとのことでした。正に生涯学習教育ですね。

今回S.P.Vが活動10周年を迎ましたが、細く長くS.P.Vの活動を続けたいと思っている私も、今後10年間続けていられるでしょうか?

不安もありますが続けていたいと思いました。(案内グループ/菅野佳子)



S.P.V10年のあゆみ

～平成14年度 （～2002）	平成15年度 （～2003）	平成16年度 （～2004）	平成17年度 （～2005）	平成18年度 （～2006）	平成19年度 （～2007）	平成20年度 （～2008）	平成21年度 （～2009）	平成22年度 （～2010）	平成23年度 （～2011）	平成24年度 （～2012）	平成25年度 （～2013）
H13.10 科学館誕生	（会員数 100名）	（会員数 104名）	（会員数 123名）	（会員数 135名）	（会員数 131名）	（会員数 120名）	（会員数 117名）	（会員数 126名）	（会員数 115名）	（会員数 118名）	（会員数 112名）
H14.6 鉄道ジオラマにて ボランティア 活動34名	●一般ボランティア 活動開始	●S.P.Vつうしん 創刊号発行3ヶ月毎	●ボランティアフェス ティバル3月／毎年	●「おおまち笑・ Show・商」	●出張活動急増 『おおまち笑・ Show・商』	●「青少年 ボランティアの ススメ」講座開催	●「青少年 ボランティアの ススメ」講座開催	●新潟県立自然科學館 水族館で研修	●ふれあい科学館 開館10周年記念	●第10回総会	●アクアマリンで研修
H15.3 一般 ボランティア募集 81名応募	☆S.P.V誕生	●S.P.V設立総会	●中間活動成果発表 会＆懇親会	●日本科学未来館で ボランティア研修	●「楽学ボラのススメ」 自主市民交流会開催	●郡山地域福祉推進 フォーラムに参加	●全国生涯学習 フェスティバル in 郡山参加	●「ごむごむ」来館 ボランティア交流会	★東日本大震災＋ 原発事故発生	●角田市西根 ボランティア友の会と 交流会	●10周年記念事業実 施実行委員会設立
	●アクアマリンで ボランティア研修	●日本科学未来館で ボランティア研修	●国立科学博物館で ボランティア研修	●アクアマリンで ボランティア研修	●茨城県自然博物館 でボランティア研修	●星空案内人（星の ソムリエ）3名認定	●大洗わくわく科学館 /水族館ボランティア 研修	●大洗わくわく科学館 /水族館ボランティア 研修	★4月28日再オープン	●23年度 ボランティア 研修中止	

永戸法夫 館長

大森高志 館長

箭内政勝 館長

佐藤秀一 館長

遠藤育夫 館長

伊東利幸 館長

S.P.V10周年記念祝賀会

式典・講演会から場所を移し開かれた記念祝賀会。会場はホテルプリシード郡山2階、レストラン『ヴァン・ヴェール』です。

乾杯後間もなく始まったテーブルスピーチでは、今年度の新会員から会設立に尽力頂いた関係者に至るまで、数名の参加者から、



思い出やS.P.Vに掛けるたくさんの想いが語られました。

その後も、新年度から着用となる新ユニフォームのお披露目会や、天文グループ齋藤さんによる活動発表会、郷土色豊かな景品が待ち受けるお楽しみ抽選会などが次々と行われ、参加された皆さんも気心知れた仲間と歓談を楽しみつつ美味しく飲み食いし、実に和やかな雰囲気の中では会は進行していました。

そして、今回のイベント最大の見せ場が、S.P.V10年間の歩みを音楽と共にまとめ



ユニフォームのお披露目です。左側のオレンジのユニフォームは従来のものです。色は明るくさわやかなスカイブルーで、動きやすさ、通気性などを重視しました。



上げたビデオ上映会です。自分たちの活動を振り返り感慨に耽ると共に、過去の活動や他グループの活躍を見て各自何かしら刺激を受ける面もあったのではないかでしょうか。年齢も経験も様々な方が集うS.P.Vですが、各々活動を存分に楽しむべく真剣に取り組んできたからこそ、一つ一つの歩みがとても印象深いものとして思い出されるようです。ビデオの後半で、つい先程までの会の様子が上映され、まるで結婚式のような華麗な演出にみんなビックリ!!

半年間に渡り準備が進められてきた10周年記念イベントは、長きに渡りS.P.Vをまとめ上げてきた久野会長へのサプライズ花束贈呈にて幕を閉じました。



本日のサプライズ!!科学グループ佐久間さんから久野会長へ。「会長、これからもよろしくお願いします。」

S.P.V10周年おめでとうございます。

公益財団法人 郡山市文化学び振興公社 代表理事 柳沼大太郎

『ふれあい科学館スペースパークボランティアの会』10周年、誠におめでとうございます。また、皆様には日頃から当財団管理のふれあい科学館にご理解とご協力をいただき、心より厚く御礼を申し上げます。

さて、先日の祝賀会は記録的な大雪の中での開催でありましたが記憶に残る楽しい会となりました。関係者の皆様のご労苦に対し、またS.P.V会員皆様の10年間に渡る生涯学習とボランティア活動に対し改めて敬意と感謝を表します。

皆様には、科学館内の事業運営において重要な役割を担っていた

だしているばかりか、地域公民館や小学校などで館外活動もしていただいており、さらには、この10年間常に100名を越える方々がボランティアとして登録し、各々がボランティア活動をするとともに生涯学習者として自主性に富んだ活動をされております。まさしく、皆様の活動は全国の先進事例となり誇れるものであります。

今後とも、S.P.Vの皆様の活動が一層充実し、発展していくことを心からご祈念しあるメッセージといたします。



10周年祝賀会に思う

当日は、きっとこれ以上の悪天候は今世紀中にはないのではと思われる状況でしたが、集まつたいつものメンバーの顔を見ると幸せな気持ちになりました。

10年来の天文グループのメンバーとは、ダウエル、スリービーチ、パノップ、エイコー…この単語ひとつで一晩は盛り上がれます。

また、S.P.Vのメンバーは、時間の流れが止まったように年を取らないな~と思いました。とても10年も過ぎたとは思えません。

S.P.V10周年記念祝賀会

人生を60年、ボランティア活動を10年もやっているとこれまで経験した事がない事態に遭遇するもので、祝賀会前日の記録的大雪は交通が遮断され、除雪に追われました。祝賀会会場のホテルまでは長靴で向かい、そこで靴に履き替えたのは私ばかりではなかったようでした。

新人ボランティアの思うこと

私がスペースパークボランティアの会に入会し、約8ヶ月が経過しました。諸先輩方が継続的活動の10年目を迎えたことで、本当に素晴らしいと思います。会の節目の時に立ち会ったことで、私自身の今後の活動に対する具体的な展望・ビジョンを持つことができました。わからないことはわからないと素直に受け止め、その都度勉強し直す「謙虚な心と向上心」。明るく楽しく元気よく、そして真心こめて人と接すること。正しい知識を自分で身につけ、いずれは他の人に与えていくことができる、そんなボランティア。月2回の活動を目標とし、気負わず気長に5年10年と経験を積み重ね、世のため人のため、そして自分のためになる活動ができるることを目指していきます。

10周年、本当にめでとうございます。
(案内グループ／今村 亮子)

若さの秘訣は?ボランティア活動?もともと年を取らない特異体质…?

自分が感動したことや、楽しいと思ったことを人と分かち合う。何かをしてあげるのではなく一緒に楽しむ。そんな自然体でいられる場所がS.P.Vだと改めて感じました。

次の祝賀会には、ベテルギウスが爆発するのではないかと思いますが、いつものメンバーでまた祝うことができるよう、ボランティアを楽しみたいと思います。(天文グループ／齋藤正一)

祝賀会は、これまでの活動の記録映像(10年前は自分も若かった…)や昔を思い出させるテーブルスピーチに大変盛り上がりました。

天文時間という悠久の時を共通の趣味を持った仲間と活動してきて本当によかったです。天文ボランティア万歳!

(天文グループ／樋 芳光)

の人に与えていくことができる、そんなボランティア。月2回の活動を目標とし、気負わず気長に5年10年と経験を積み重ね、世のため人のため、そして自分のためになる活動ができることを目指していきます。

ふれあい科学館元館長 佐藤 秀一



小さな喜びと大輪の花

『スペースパークで大活躍中のボランティアが今年度の活動の集大成を皆さんにお送りします』と…今年もS.P.V10年の歴史の重みと会員112名の思いを刻んだ一大イベント開催チラシが届きました。

発足以来、脈々と続く“無償の愛”に頭が下がります。しかも毎年およそ100名もの方々が喜々として科学館と両輪を成し郡山を代表する施設を支えてくださっている。『幸せ者とは小さな喜びを十分に味わえる人／高い年収で満足は買えるが幸せは買え

ない』(プリンストン大カーネギー名誉教授)の言葉をそのまま体現したような彩り豊かな活動に心より敬意を表します。

『地域活動は花を一鉢、通りに出すことから始まる』【作新学院大橋立教授／地域デビュー講座】というお話を聞きしました。

S.P.Vの皆様が出された一鉢がさらに大輪の花を咲かせることを期待いたします。

